

早稲田大学国語教育学会 2021年度 夏季大会(第288回)のご案内

<シンポジウム>

古文教育における文法学習——ニワトリが先かタマゴが先か——

司会・コーディネーター
パネリスト

和洋女子大学
奈良教育大学
福岡女学院大学
聖光学院中学校高等学校

吉井美弥子
有馬義貴
小林賢太
根本駿

2021年6月19日(土)14時半より オンラインにて開催

■夏季大会プログラム■

14:30 参加上の注意
14:40 開会挨拶

—シンポジウム前半(14:45~16:30)—

14:45 趣旨説明 吉井美弥子先生
14:50 提案1 根本駿先生
15:10 提案2 小林賢太先生
15:30 提案3 有馬義貴先生
15:50 登壇者討議

16:30 休憩

—シンポジウム後半(16:40~17:40)—

16:40 質疑応答
17:20 各提案者より総括
17:35 シンポジウム総括

17:40 閉会挨拶

17:55 総会

19:00 懇親会(約1時間)

—シンポジウム趣意文—

2022年度より高等学校において、いよいよ新学習指導要領による「現代の国語」と「言語文化」の新科目が始まる。この「言語文化」という科目の設置が考案された背景には、高校生の「古典嫌い」があったといわれる。そして、高校生がとくに「古文が嫌いになる」理由のひとつとして必ず挙げられるのが、「文法の学習が嫌いだから」というものであるようだ。学習指導要領が大きく改訂されたことを受けて、近年、文学教育の問題がさまざまな場で取り扱われるようになってきている。その中には古典教育が必要か不要かという問題さえ浮上している。しかし、すぐ目の前に近づいている「言語文化」という科目においても、少なくとも現時点で古典は必修の学習の対象となっている。要するに、高校の教育現場では、何かと嫌われることが多い古文を、依然として教える必要があるのだ。そこで、本シンポジウムでは、前述したように、まずは「古文が嫌われる」理由のひとつである文法学習の問題に注目してみたい。そもそも、高校・大学を問わず、教員によって意見が大きく分かれるのが、この文法学習への取り組みについてであるように思われる。本シンポジウムでは、ご登壇の先生方から「古文教育における文法学習」をどのように考えるかという問題についてご提言をいただき、改めてこれからの古文教育を具体的に考えていく契機としたい。副題に付した「ニワトリが先かタマゴが先か」とは、諸賢ご推察の通り、古文学習を考える際の悩ましい問題、「内容の解釈が先か、文法学習が先か」の喩として掲げたものである。(吉井美弥子)

■参加方法■

①会員の方

6月上旬発送の夏季大会の案内状に記載のパスワードを使って、[例大会参加用ページ](#)へお進み下さい。

②一般参加をご希望の方

6月10~19日に、[学会HP](#)または[特設ページ](#)より[参加申し込み用フォーム](#)にてお申し込みください。参加に必要な情報をお送りします。※期間外に申し込みフォームに入力しても、無効になりますのでご注意ください。

③早稲田大学に在籍する国語教育専攻の大学院生・国語国文学科の学部生

6月の授業や大学院生MLによって参加方法をお知らせする予定です。

[【例大会参加用ページ】](#)



■配付資料について■

[例大会参加用ページ](#)から、前日午後より資料を取得できます。必要に応じてご用意ください。

【事務局より】

◎次回は秋季例会(第289回)です。第15回学生会員研究発表会を開催いたします。開催日程や開催方法などの詳細につきましては、[学会HP](#)および[特設ページ](#)にて決まり次第お知らせいたします。一般参加もできますので、多くの方のご参加をお待ちしています。

◎名簿刊行へのご協力をお願いします。6月末日までに、案内状同封のハガキ、またはHP設置の[名簿刊行専用フォーム](#)からの会員情報の登録をお願いします。

◎春季例会で使用した[平曲動画](#)が視聴できます。ご希望の方は、HPの[専用フォーム](#)よりお申し込みください。

◎入会希望の際には、学会HPの[学会案内](#)のページをご確認ください。学生会員は、学籍の確認がとれれば、その年度に限り、年会費3000円が免除されます。

↓[学会HP](#) ↓[特設ページ](#) ↓[一般参加申込](#) ↓[名簿刊行用](#) ↓[平曲視聴用](#)



早稲田大学国語教育学会事務局

問い合わせ先:wasekokukyou@gmail.com
(※ワセコクキョウ@~とご入力ください)

ホームページ:<http://www.waseda.jp/assoc-w-kokukyou/index.html>

※情報が最新でない場合があります。[特設ページ](#)も合わせてご確認ください。